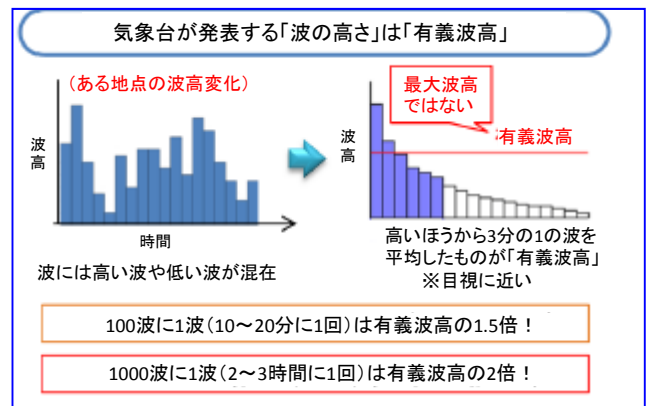


有義波高・うねりについて

有義波高とは？

海上の波は、高い波や低い波が混在して複雑です。そこで天気予報で発表する波の高さには、人が目を見た波の高さに近い値である**有義波高(ゆうぎはこう)**を用います。これは、ある地点で連続する波を観測したとき、波高の高いほうから順に全体の1/3の個数の波(例えば20分間で100個の波が観測されれば、大きい方の33個の波)を選び、これらの波高を平均したものです。



したがって実際は、10分から20分に1回は天気予報の波の高さの1.5倍、2時間から3時間に1回は2倍の波がくることがあるので、注意が必要です。

波は浅瀬にくるほど、波の高さが高まる性質をもっています。また、波のもつエネルギーは、波の高さの2乗に比例します。例えば4メートル波のエネルギーは、2メートルの波のエネルギーの4倍になります。

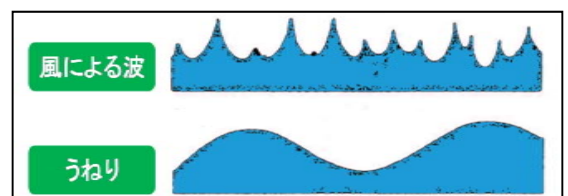
沖合で低い波でも浅瀬になると、急に高さを増しますので、油断せず注意しましょう。

うねりとは？

私たちが普段目にする海の波は風によって作られたものです。この風による波が、作られた場所を離れ遠くまで伝わったものを「うねり」といいます。

風による波は、個々の波の形状が不規則で尖っています。うねりは、形状は規則的で丸みを帯び、風による波よりも波長や周期が長いのが特徴です。

穏やかな海でもうねりは突然おそってきます。浅瀬や海岸では急激な高波になります。波浪注意報を発表してなくても、台風が遠くにある場合等に、天気予報に「うねりを伴う」という表現があるときには、海水浴等の海のレジャーには注意しましょう。



(模式図のため、どちらも高さを強調しています。)

「うねり」は突然おそってくる

「うねり」は、低い姿勢で忍び寄ってきて、突然おそいかかる猫科の猛獣のよう

「うねり」の波のイメージ

- ★周期(波長)が長いほど高くなる
- ★海底勾配が急なほど高くなる

沖合で有義波高1mのうねりで3mを超えることも

水深10mより浅い所で波が急に高まり砕ける

沖合は一見、種やかだが...

浅瀬や海岸では急激な高波に!

南大東島の漁港

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)